

第二次霧島市総合計画(前期基本計画)総括シート

政策体系	政策No.	2	政策名	くらし(みどりあふれる快適で暮らし続けたいまちづくり)					施策幹事課	
	施策No.	3	施策名	快適生活の基盤づくりの推進					建設政策課	
計画期間(2018年度～2022年度)における施策の方針 (総合計画書から引用)								関係課		
<p>市民が快適さと暮らしやすさを実感し、安心して住み続けられるまちの実現を目指します。</p> <p>そのため、市営住宅の長寿命化、土地区画整理事業による住環境の整備や超高速ブロードバンドの整備促進、上下水道施設等の計画的な整備・改修、耐震化等に努めます。</p> <p>また、幹線道路のバイパス整備、地域の拠点施設を結ぶアクセス道路の整備など市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保に努めます。</p>								DX推進課、土木課、建設施設管理課、建築住宅課、建築指導課、都市計画課、区画整理課、上下水道総務課、水道工務課、下水道工務課		
施策の方針に対する達成状況(2018～2022)				後期計画における課題						
<p>■市営住宅等長寿命化計画に基づき、市営住宅の外壁改修等を行い、住環境の改善ができたことで、既存住宅の有効活用が図られた。</p> <p>■麓第一土地区画整理事業は、工事を完了し、換地処分を行った。</p> <p>■国分単人公共下水道事業は、より効率的に整備を進めるため、2020年度に全体計画区域等の見直しを行い、計画的に整備面積を拡大できた。</p> <p>■幹線道路のバイパス整備、アクセス道路を整備により、市内の道路網の強化や円滑な交通環境の確保が図られた。</p> <p>■市光ブロードバンド整備計画に基づき、本市における光ブロードバンド環境は概ね市内全域で整備が完了した。</p> <p>■水道管の耐震化率(目標は年1%向上)は、基幹管路の整備が順調に進み、概ね達成できた。</p>				<p>■団地の現状を勘案して、長寿命化計画を見直す必要がある。</p> <p>■土地区画整理事業が長期化していることから、早期完成に向けた計画的な事業推進が必要である。</p> <p>■下水道事業の全体計画区域の早期完成に向けて、計画的に整備を進める必要がある。下水道施設の維持管理、計画的な改築等を実施し、持続可能な下水道事業の運営に努める必要がある。</p> <p>■今後も引き続き効果的な道路整備を行い、道路網の強化等に努める必要がある。</p> <p>■光ブロードバンドの利用が困難な地域が一部あるため、引き続き電気通信事業者との調整が必要である。</p> <p>■社会情勢の変化に伴い、水道管耐震化率の目標値を見直す必要がある。</p>						
成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(100%以上) △目標を未達成(100%未満)								
		単位	目標達成の方向性	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	達成率 結果
A	ゆとりある住みやすいまちであると 感じている市民の割合	%	更なる増加を 目指します	目標値	57.4	58.1	58.7	59.4	60.0	108.0%
				実績値	-	-	-	-	64.7	◎
B	市道の改良率(規格改良済/ 実延長)	%	更なる増加を 目指します	目標値	47.5	47.7	47.8	47.9	48.0	101.0%
				実績値	47.9	48.1	48.2	48.3	48.5	◎
C	水洗化率 (水洗化[接続]人口/供用開 始区域人口)	%	更なる増加を 目指します	目標値	84.6	85.6	86.6	85.3	85.5	101.0%
				実績値	84.0	86.5	85.0	85.3	86.1	◎
D	超高速ブロードバンド整備率	%	更なる増加を 目指します	目標値	80.4	83.0	86.0	89.0	92.0	103.0%
				実績値	81.2	87.2	89.6	94.6	94.6	◎
E	耐震化率(水道管)	%	更なる増加を 目指します	目標値	25.6	26.6	27.6	28.6	29.6	93.0%
				実績値	25.5	26.2	26.7	27.2	27.5	△
基本事業	5年間の取組内容			5年間の取組成果				後期計画における課題		
①良質な住環境の 整備	<p>■市営住宅外壁改修5棟102戸、個別改善 7棟134戸、電源改修11棟198戸、浄化槽改善4団地、下水道接続11棟232戸</p> <p>■大規模建築物の耐震化促進のため所有者に対し、働きかけを行った。木造住宅の耐震化促進のため、アクションプログラムを作成した。</p> <p>■土地区画整理事業区域内の道路・水路等の整備や建物等の移転補償交渉を行った。</p> <p>■国分単人公共下水道事業は、2020年度に全体計画区域等の見直しを行った。水洗化率の向上については、住民等に工事説明会等を行い、下水道接続を促した。</p>			<p>■市営住宅の住環境の改善ができたことで、既存住宅の有効活用が図られた。</p> <p>■耐震性のない大規模建築物について、1棟の耐震改修工事、3棟の除却が完了し、住環境の安全性の向上に努めることができた。木造住宅については、耐震診断の助成を行い、耐震性の有無が確認できた。</p> <p>■各地区の事業スケジュールに沿って、道路・水路等の整備や建物等移転を行い事業の進捗が図られた。麓第一地区は工事を完了し、換地処分を行った。</p> <p>■全体計画区域等の見直しを踏まえ計画的に整備面積を拡大できた。水洗化率については、概ね目標を達成できた。</p>				<p>■長寿命化計画の見直しを行い、財源を確保し、市営住宅の改修等を行う。</p> <p>■大規模建築物の耐震改修工事の着手期限が、2024年3月末日のため、所有者に対し、着手するよう働きかけを行う。</p> <p>■事業施工中の浜之市・隼人駅東地区の早期完成を目指す。</p> <p>■下水道事業の全体計画区域の早期完成に向けて今後も計画的に整備を進めるとともに、下水道施設の維持管理、計画的な改築等を実施し、持続可能な下水道事業の運営を行う。住民等への啓発活動等を通じて下水道接続を促し、水洗化率の向上に努める。</p>		
②道路ネットワークの 構築と道路施設の 維持	<p>■国・県に対して国道・県道整備に係る要望活動を継続して行った。</p> <p>■市内幹線道路の渋滞解消のためのバイパス道路の整備や地域の拠点施設を結ぶアクセス道路を整備した。</p> <p>■都市計画道路山崎線、新町線、新川北線、日当山線、犬追場場線の整備を行った。</p> <p>■市道や生活道路維持のため、2173件の修繕を行った。橋梁については、23橋の橋梁補修、25橋の設計委託、415橋の定期点検を行った。</p>			<p>■国道・県道の整備の進捗が図られた。</p> <p>■バイパス道路(住吉東線ほか3路線)、アクセス道路(川跡～新川線ほか15路線)、辺地対策事業(新香線ほか4路線)、過疎対策事業(池田～財部線ほか4路線)を整備した。</p> <p>■都市計画道路の新町線と山崎線を供用開始した。</p> <p>■地域まちづくり実施計画等に基づき年次の補修を行った。「霧島市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき橋梁の定期点検、橋梁補修を行った。</p>				<p>■未整備区間の事業化に向け、今後も引き続き要望活動を行っていく必要がある。</p> <p>■幹線道路・生活道路の生活基盤整備は、社会経済情勢を踏まえた、より効率的で効果的な整備が求められている。</p> <p>■都市計画道路の計画的な整備を進める。</p> <p>■地域まちづくり実施計画書の要望等が年々増加しており、財源に限られているため、整備が追いつかない状況が予想される。今後、橋梁維持管理費の負担増が想定される。</p>		
③地域情報化の 推進	<p>■市光ブロードバンド整備計画に基づき、年次的に光ブロードバンド環境の整備を行った。</p>			<p>■本市における光ブロードバンド環境は概ね市内全域で整備が完了した。</p>				<p>■光ブロードバンドの利用が困難な地域が一部あるため、引き続き電気通信事業者との調整が必要である。</p>		
④安全で良質な水の 安定供給	<p>■災害や事故に強いライフラインの構築のため水道関連施設の更新・耐震化工事に取り組んだ。</p>			<p>■水道管の耐震化率(目標は年1%向上)は、基幹管路の整備が順調に進み、概ね達成できた。</p>				<p>■昨今の水道管資材費や労務費の高騰により整備延長が限られている。水道管の耐震化率の目標値(年1%向上)を見直し、社会情勢に応じた整備に努める。</p>		